

## 令和7年度 第2回 千葉県救急・災害医療審議会 審議概要

日時：令和8年3月25日（水） 午後2時30分から午後3時30分まで  
場所：WEB会議（zoom） 事務局：千葉県庁南庁舎4階収用委員会審理室  
出席委員：金江委員、大越委員、増淵委員、齋藤委員、宮田委員、岡本委員、  
皆川委員、埴委員（12名中8名出席）

### 1 審議概要

#### (1) 審議事項 市原医療圏、印旛医療圏、東葛北部医療圏の救急医療について

##### ア 事務局説明

資料1により、千葉労災病院の救命救急センターへの指定および国際医療福祉大学成田病院、千葉西総合病院の救命救急センターへの指定要望について説明した。

##### イ 結論

- ・ 千葉労災病院を救命救急センターへ指定する方針について承認された。
- ・ 県は、県内の救命救急センターの適切な配置や箇所数等、集約化について検討していくこととされた。

#### (2) 報告事項 ちば救急医療ネットのシステム改修について

##### ア 事務局説明

資料2により、ちば救急医療ネットのシステム改修について説明した。

### 2 委員からの質問・意見（要旨）

#### (1) 審議事項

##### ○ 委員からの質問・意見①

千葉労災病院の救命救急センターの指定が、山武長生夷隅地域のためというふうに聞こえる。そういうところが背景にあるのか。

帝京大学ちば総合医療センターは今後、千葉労災病院の近くに移転するため、近くに2つの救命救急センターが乱立することになる。その点に関して、県としてはどのように考えているのか。

##### ○ 回答

千葉労災病院には市原医療圏だけでなく、隣接する医療圏、特に長生地域の患者を受入れていただいているので、県としてはそちらも担っていただきたい。

千葉労災病院だけでなく帝京大学ちば総合医療センターも、医療圏を越

えた連携をして、医療提供体制を築いていくべきではないかという考えの基に今回指定をしたい。

また、将来的に帝京大学ちば総合医療センターは、移転を予定している。2つの病院は、市原医療圏内において、もともと役割分担ができています。場所ということではなくて、それぞれの機能において役割分担を果たしていくという意味で、県としては問題ないと考えています。

#### ○ 委員からの質問・意見②

100万の人口に1つの救命センターというふうな目安の中、30万の人口の中に2つの救命救急センターを認めるということは、今後も、近接して立地する救命救急センターを認めていくというような流れになるのか。今後はやはり、定期的に救命救急センターの見直しをしていかないとけないのではないか。

国際医療福祉大学成田病院、千葉西総合病院も含めて、どんどん指定を希望するところは増えてくるが、千葉県内には、もう15の救命救急センターがあり、集約化ということ言われている中で、今後増やしていくことに関しては、かなり慎重に考えたほうがいいのではないか。

#### ○ 回答②

県としても、未来永劫これですずっとやっていく、このやり方で良いということではなくて、国の動向を見ていきたい。既存の救命救急センターありきではなく、一定の基準を定めるなどして、適切な救命救急センターの位置とか箇所数等についても検討したい。ただ、今の段階では、千葉労災病院の指定について、現状を踏まえると、指定してよろしいのではないかと考えており、御意見を伺った。

#### ○ 委員からの意見③

防災対策という面で考えると救急の方も力を入れてもらいたい。

今回の千葉労災病院の指定について、千葉労災病院と帝京大学ちば総合医療センターが、食い合うようなことがなければ、話を続けていただきたい。将来的には、夷隅長生にも大きな病院を作り、できるだけ近い立地条件で運べるような、そういう場所を作っていただけると良いなと思う。

#### ○ 回答③

大きな病院をという御意見だが、地元の病院の機能強化という話も含むということが良いか。いずれにしても、適切な救急医療提供体制を作っていくよう、今後も検討していきたいと思う。

(2) 報告事項

○ 委員からの質問④

現在の救急システムの現状に関して、実際どの程度運用されているか、実績等のデータはあるか。

○ 回答

アンケートをとっており、結果をまとめているが、手元にないためお示しできない。

○ 委員からの質問⑤

このシステムの更新改修などでかなりの予算が必要になると予想している。それが効率的に運用されているのかということに関して、こういったシステムをどこまで今後継続していくのか、どういうふうにして運用していくのかというようなところのプランまで合わせた上で、千葉県の考えを示していただきたい。

○ 回答

令和7年度は、こちらの2つのシステムが併存して動いているが、救急搬送一斉照会システムを3月末で廃止してちば救急医療ネットへ統合するという改修を行った。

しかし、ちば救急医療ネットの効率的な活用も重大な課題。今日のところは、この2つのシステムが併存していたので、ちば救急ネットに統合し、こちらを使用していただきたいという意味で御説明した。今後も皆様から御意見を伺いながら、良いものに改善していきたい。